

「私達がめざすもの」



自由に遊び、学び、人と関わりながら成長し夢を育んでいく。

そんなあたりまえの日常が叶わない、

「いのち」と向き合い暮らすこどもは、諦めなければならないことばかり。

きょうだい・家族も、不安や悲しみを抱え、
孤立してしまうことも少なくありません。

私達は、こども・きょうだい・家族の「できたらいいな」
「やりたいな」という「いっぱい夢や願い」を、
こども家族と一緒に叶えたいと思っています。

多くの皆様のご協力をいただき、こどもが主体となる体験、
からだも心もほっとリラックスできる憩いのひと時、
大切な思い出を語り合える癒しの場づくり。

闘病中から旅立ちの後まで、こどもや家族が「一人ではない」と
感じられる地域社会をつくっていきたくと考えています。

役員紹介

【理事長】 小川 純子 淑徳大学看護栄養学部 教授

【副理事長】 矢澤 博美 千葉県重症心身障害児(者)を守る会
千葉県医療的ケア家族会

横山 正博 社会福祉法人 千葉県身体障害者福祉事業団 理事長

【理事】 池田 徹 社会福祉法人 生活クラブ風の村 特別常任顧問

沖本 由理 千葉県こども病院
医療法人財団 はるたか会あおぞら診療所まくり 医師

こまちだたまお 株式会社いろだま・たまあーと創作工房 代表

前田 浩利 医療法人財団はるたか会 理事長

村山 直 弁護士

【監事】 井上 富美子 認定 NPO 法人
ミルフィーユ小児がんフロンティアーズ 名誉理事

加藤 達郎 税理士

活動を支えてくださる方を 募集しています

ちばこどもホスピスプロジェクトの活動は全て、
会費および皆様からのご寄付で支えられています。

賛助会員

会員として活動を継続的に支えてくださる方を募集しています。

個人会費 6,000 円 / 口 企業・団体 10,000 円 / 口

※年会費の事業年度は、毎年4月1日～翌3月31日までとなります。

ご寄付

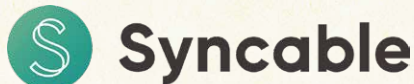
随時承っております。

個人 3,000 円 ~ 企業・団体 10,000 円 ~

また、マンスリーサポーターとして
月々のご寄付で応援していただくことも可能です。

個人 月々 500 円 ~ 企業・団体 月々 5,000 円 ~

寄付サイト「シンカブル」



賛助会員、ご寄付は
寄付サイト「シンカブル」から
お手続きをお願いいたします。



<https://syncable.biz/associate/childshospice-chiba>

連絡先

NPO法人 ちばこどもホスピスプロジェクト

〒263-0051 千葉県千葉市稲毛区團生町 1107 番地 7

Email : info@childrenshospice-chiba.org

HP : <https://www.childrenshospice-chiba.org>



NPO法人 ちばこどもホスピス プロジェクト



「いのち」と向き合うこどもたちを みんなで支えるために

小児がん、先天性疾患、重症心身障がいなどのため、
「いのち」と向き合いながら暮らしているこどもは
日本に2万人ほどいます。

これらのこどもときょうだい、家族がゆったりと過ごし、
自由に遊ぶことができる時間と場、
それが「こどもホスピス」です。

NPO 法人
ちばこどもホスピスプロジェクト HP





2023年 夏祭り



2023年 クリスマス会



2023年『ゆめ☆かな』プロジェクト
第1号実現

活動内容

活動
1

交流と憩いの イベント

夏祭り、クリスマス会、ミニコンサート等を開催し、孤立しがちな子どもと家族に楽しい時間、交流と憩いの場を提供しています。

活動
2

『ゆめ☆かな』 プロジェクト

重い病気や障がいにより、「いのち」と向き合いながら暮らす子どもの、日常生活の延長線上にある願いを、皆様のご協力をいただきながら一緒に実現しています。

活動
3

ボランティア研修 寺子屋

子どもや家族を応援していただくボランティアや、小児緩和ケアに関心のある方を対象に、支援に必要な基礎的な知識や配慮等を学べる研修会を開催します。

活動
4

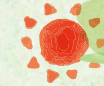
子どもホスピス フォーラム

フォーラムやシンポジウム、ミニコンサート等を通じて、地域の皆様に「いのち」と向き合う子どもや家族の現状やニーズを知っていただき、活動への理解と支援を呼びかけています。

活動スタッフ

様々な分野のスタッフが 活動に関わっています

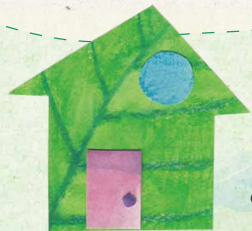
ちば子どもホスピスプロジェクトの運営には、当事者家族のほか、医師や看護師など医療機関や福祉施設のスタッフ、チャイルドライフスペシャリスト、アーティスト、弁護士、税理士など様々なスタッフが関わり、支援を希望する子どもと家族をサポートしています。



千葉に子どもホスピスをつくらう！

大阪 TSURUMI 子どもホスピス、横浜子どもホスピス「うみとそらのおうち」など、既に建物をもって活動している団体もありますが千葉にはまだ子どもホスピスの施設はありません。

私達は、皆様のご支援とお力添えをいただきながら、こうした子どもや家族がホッとできる時間を過ごせる場所、最後の時まで家族で安心して過ごせる場所、亡くなった後も子どもとの思い出を一緒に語ることでできる場所、そのような拠点施設の整備も目指しています。



子どもホスピスとは

子どもホスピスは、重い病気や障がいのため、「いのち」と向き合って暮らす子どもが諦めていた、本来享受すべきその子らしい時間を叶える、病院ではない場所やサービスです。

世界で最初の子どもホスピス（ヘレン・ダグラス・ハウス）は、1982年イギリスのオックスフォードで、教会のシスターが知り合いの親から重い病気を抱えたヘレンという2歳の女の子を預かったことから、その歴史は始まりました。

日本では2016年に大阪で、2021年には横浜市で子どもホスピスがオープンしました。そして今、全国に「子どもホスピスを作らう！」という動きが広がっています。

